

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

	チェック項目	はい いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	8		普段は学習と活動スペースを分けておりますが、活動内容によっては活動と学習スペースを合わせ広い空間を作ることに対応しております。また、その都度職員の見解を聞きながら適応していこうと考えております。部屋の区別化を図るために柵などで仕切りを作っております。	
	2	職員の配置数は適切である	8		職員配置人数は足りておりますが、言語聴覚士や作業療法士を配置できると、業務がさらに円滑に進むと共に専門職からのアドバイスによる療育の幅も広がると考えております。しかし、現在でも児童発達管理責任者、児童指導員、保育士、専門職などの有資格者の配置をしております。	
	3	生活空間は、児童にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2	玄関外に小さな階段はありますが、職員の見守りや手を繋いで昇降しております。屋内は段差はなくバリアフリーとなっております。また、学習スペースと活動スペースは視覚的に分かりやすいように仕切っております。	学習スペースと活動スペースの間隔が近いので、声量には気を付けております。対策として声量指標をラミネートし掲示しております。また、戸建と部屋の構造上設備等で気になる部分はありますが、手洗い場やトイレなどには踏み台を準備しており、手洗いや排泄がスムーズにおこなえるよう対策しております。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童達の活動に合わせた空間となっている	8		朝やおやつ後の、児童送迎後に掃除機をかけており、清潔感を保つよう心がけております。また、学習時は活動している児童が目に入らないように机の向きを工夫しております。	
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	8		個別の部屋はございませんが、必要に応じて静養室を準備しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	8		朝礼の際に必要な伝達事項を共有しております。その中に目標や振り返りもおこなっております。申し送りノートを活用することで過去の伝達事項が確認でき、その日休みだった職員が後日、確認できるように工夫しております。	
	7	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		保護者様のご意見、それに対する対策を書面、口頭で周知し職員一人ひとりが意識をし業務改善につなげております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	8		毎朝の引き継ぎや、毎月おこなっている業務改善に対する話し合いを設けております。話し合いの中で課題点、改善策を検討し業務改善につなげております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討しております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	8		外部研修は行っておりませんが、社内研修には全職員が参加し、理解を深め業務の資質、知識の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成・公表されている	8		支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	個々の児童に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析し、児童発達支援計画を作成している	8		保護者様との面談をもとにアセスメントをおこなっております。また、アセスメントに加え遊びや運動、学習を通して評価をおこない、支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	8		支援計画会議をおこない、情報の共有をおこなっております。会議の中では、利用児童の気になる点や変化した点などの情報共有をおこない、改善点の検討をおこなっております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている	8		支援計画会議で計画内容の検討をおこない、情報共有をおこなっております。その後、会議で検討した部分の訂正をおこなった計画書を再確認し、支援計画の共通認識を図ると共に計画に沿った支援に努めております。	
	15	児童の適応行動の状況を標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	8		標準化されたアセスメントツールを使用し、状況把握や、課題の抽出をおこない、支援の向上に努めております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		保護者様のニーズをお聞きし、ガイドラインに沿って必要な項目に対し具体的な支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		職員で話し合いをおこない、さまざまな職種からの視点からの活動を提供できるようにプログラムの立案をおこなっております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		限られた空間や道具を使用することを心掛け、固定化にならないように気を付けてプログラムの立案をおこなっております。また、同じ活動でも内容を変更して提供しております。	
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	8		児童の利用状況や保護者様のニーズに合わせて、集団活動や個別活動のどちらが必要で、どちらが適しているかを考えて支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	8		毎朝申し送りをおこなっており、児童のことや支援の流れについて気づきや課題の情報共有をおこなっております。また、学習担当や送迎担当など役割の確認もおこなっております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	7	支援終了後には、送迎等の時間の兼ね合いでおこなうことは難しいですが、翌朝の朝礼時に情報の共有をおこなっております。	シフト制のため、その日休みだった職員には申し送りノートにより情報の共有をおこなっております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		日々の支援の中で気付いたことや、気になること等は個人経過記録に記録し、翌日の朝礼で情報の共有をおこなっております。さらに、情報共有時に改善策等も話し合い日々の支援の向上に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直し等の必要性を判断し、適切な見直しを行っている	8		定期的にモニタリングをおこない、目標達成の有無や変更の有無の見直しをおこなっております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っている	7	1	個別支援による自立支援や制作活動等による創作活動、社会科見学等の地域交流の機会など、複数組み合わせることで支援をおこなっております。	地域交流の機会等の頻度が少ないため、長期休み期間等、実施できる環境を整えて頻度を増やせるように努めてまいります。
	25	児童が自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている	8		小集団活動や、制作活動などの活動を通しておこなっております。活動内容は提供しておりますが、取り組む方法は選択肢を与え、児童に合った支援をおこなっております。	
関係機関や保護者様との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参加している	8		基本的には児童発達管理責任者が参加しておりますが、契約したばかりの児童などの場合は、児童発達管理責任者に加え、児童の状況を把握している職員も参加し、より多くの情報を共有できるように努めております。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	8		必要に応じて各関係機関と連絡を取り情報交換をおこなっております。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		HUG(連絡ツール)や、電話、送迎時などに保護者様と連携を図り調整をおこなっております。また、不明な点等ありましたら学校にも連絡をおこない、トラブル等がないように努めております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		保護者様のニーズを基に、相談支援事業所との情報共有をおこない、相互理解に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		現在は対象の児童が在籍しておりません。	今後、対象の児童がいましたら、保護者様のご了承のもと情報提供をおこなってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けている	2	5	現時点で児童発達支援センターとの連携は図れておりません。	今後は必要に応じて児童発達支援センターとの連携を図り、より良い支援に努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	8		現時点では外部との交流機会はあきませんでした。	今後は個人情報保護のため保護者様の意見も考慮し、検討してまいります。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6	現時点では機会はありませんでした。	個人情報保護のため保護者様の意見も考慮し検討してまいります。
	34	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達を促進するための連携について共通理解を持っていく	8		日頃からHUG(連絡ツール)にて情報共有や送迎時に状況を伝えし、課題等の共通理解に努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	2	6	保護者様からご相談を受けた際には、職員間で情報の共有をおこない、解決策を考え、保護者様にお伝えしております。	引き続き、職員間で情報共有をおこない、より良い解決策のご提案ができるように努めてまいります。
保護者様への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めています。また、質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めます。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	8		児童発達支援計画を作成するに当たり、モニタリングを通して保護者様のニーズや意見、意向を確認する機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から放課後等デイサービス計画の同意を得ている	8		計画書を保護者様にお渡しする際に支援内容のご説明を行い同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	8		保護者様からのご相談等は、迅速かつ丁寧にご対応させていただきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	8		現時点では保護者様、きょうだい同士での交流する機会を設けることができずありません。	保護者様のご意見も考慮しながら検討してまいります。
	41	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		保護者様からのご相談等は、迅速かつ丁寧にご対応させていただきます。	
	42	定期的に通信等を送信することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	8		必要に応じ会報を発行し、保護者様にはお知らせしております。また、HUG(連絡ツール)に写真を添付し、活動や行事の様子をお伝えしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意している	8		ご来客者様との会話では個人情報に十分注意しながらお話ししております。また、個人情報扱う書類等は鍵付きの書庫で保管しております。	
	44	障がいのある児童や保護者様のための配慮を行っている	8		視覚的情報に加え口頭での説明もおこない、より情報が伝わりやすいように考え、伝達しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		現時点では、事業所行事への招待等はおこなっておりません。	保護者様のご意見やさまざまな視点から課題を解決し、検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		各対応マニュアルを策定し、事業所内に設置しております。また、定期的にさまざまなパターンを想定した訓練も実施しております。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に非常災害の訓練を行っております。また、おこなった訓練に対し、改善点や改善策を話し合い、非常災害時にスムーズに対応できるように努めております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、でんかん発作等の児童の状況を確認している	8		電話、送迎時などを通して保護者様との連携を図り、服薬に対する副作用などの情報を把握し、職員間で情報共有しております。	
	49	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づき対応がされている	8		全児童のアレルギーの有無を一覧表にて確認し、アレルギーがある児童に対しては、どのようなアレルギーなのかを全職員で共有しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な指導を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	8		安全計画を作成し、安全管理に十分気を付けてながら支援に努めております。	
	51	児童の安全確保に関して、家族等との連携に基づき、取組内容について、家族等へ周知している	8		安全計画を基に避難訓練等を実施し、実施内容や避難場所を保護者様にお知らせしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している	8		ヒヤリハットがおこった際には、記録に残し、原因追及や改善策を考え、全職員で共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		事業所内にて、定期的にマニュアルに沿って研修を行っております。研修を基に、適切な対応がおこなえるように日々努めております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		利用契約書には、身体拘束の禁止を記載しており、契約または身体を保護するためにやむを得ずおこなう場合は、保護者様の同意を得るようになっております。	

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。